

倉吉市議会政務活動費収支報告書（兼精算書）

令和7年11月4日

倉吉市議会議長 様

議員名 藤井 隆弘

倉吉市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項（第2項）の規定に基づき、次のとおり令和7年度（4月～10月分）政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 140,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	4,944円	タブレット端末に係る通信料負担金（4月～10月分）
研 修 費		
広 報 費	125,054円	広報誌印刷料、折込料
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	5,742円	書籍購入（地方消滅2、ハンディ教育六法 ほか）
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	135,740円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 交付上限額（在職した月数×2万円） 140,000円

4 残 額（収入額－支出額又は交付上限額のいずれか低い額） 4,260円

資料1

領收書等添付一覽

(令和7年度4月～10月報告分)

調査研究費		
科 目		
整理番号	主な支出内容	支出金額(円)
1	タブレット端末に係る通信料負担金(4月～10月分)	4,944
こ の 表 の 合 計		4,944円

領収書等整理表

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	調査研究費																					
整理番号	1																					
領収書等添付欄 切り取らないで郵便局・金融機関・コンビニエンスストアにお出しください ① 令和 7年度 領収証書 <table><tr><td>加入者名</td><td>倉吉市会計管理者</td></tr><tr><td>口座番号</td><td>01490-7-960024</td></tr><tr><td>納付番号</td><td>20250001168101000000</td></tr><tr><td>納付書番号</td><td>11681</td></tr><tr><td>金額</td><td>9,889 円</td></tr><tr><td>納入者氏名</td><td>藤井 隆弘</td></tr><tr><td>所属名</td><td>他部局議会事務局</td></tr><tr><td>納入期限</td><td>令和 7年10月31日</td></tr><tr><td>管理番号</td><td>107369</td></tr><tr><td>摘要</td><td>令和7年4月～10月（10月1日～22日）タブレット端末に係る通信料負担金（@2,680×6月）+（@2,680×22/31）×1/2×1.10=9,889円</td></tr></table> 上記の金額を領収しました。 領収日付印 吉信用金庫 倉吉駅前支店 7.10.24 出納済 収入印紙不要（納付者保管） ※ 納付場所・お問い合わせ先は裏面に記載 収納代行会社 地銀ネットワークサービス㈱(CNS) 鳥取県倉吉市 312037			加入者名	倉吉市会計管理者	口座番号	01490-7-960024	納付番号	20250001168101000000	納付書番号	11681	金額	9,889 円	納入者氏名	藤井 隆弘	所属名	他部局議会事務局	納入期限	令和 7年10月31日	管理番号	107369	摘要	令和7年4月～10月（10月1日～22日）タブレット端末に係る通信料負担金（@2,680×6月）+（@2,680×22/31）×1/2×1.10=9,889円
加入者名	倉吉市会計管理者																					
口座番号	01490-7-960024																					
納付番号	20250001168101000000																					
納付書番号	11681																					
金額	9,889 円																					
納入者氏名	藤井 隆弘																					
所属名	他部局議会事務局																					
納入期限	令和 7年10月31日																					
管理番号	107369																					
摘要	令和7年4月～10月（10月1日～22日）タブレット端末に係る通信料負担金（@2,680×6月）+（@2,680×22/31）×1/2×1.10=9,889円																					

資料1

領収書等添付一覧

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	広報費	
整 理 番 号	主な支出内容	支出金額(円)
1	議会報告印刷料(アイズ47・48号)	53,821
2	議会報告折込料(アイズ47・48号)	71,233
こ の 表 の 合 計		125,054円

領収書等整理表

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	広報費
整 理 番 号	1
領収書等添付欄	

領収書

領収日 2025年6月24日 担当：システム

納品日 2025年6月30日

東京カラー印刷株式会社
120-0024 住閑屋町
27
TEL 03-5284-1173
FAX 03-5284-1174
登録番号：T9-0118-0102-3948

毎々ありがとうございます

藤井隆弘 様

お支払：ペイジー（クレジットカード）

品名 チラシフ라이어： 数量 14,000 枚

金額 ￥53,821 ※(税込10%対象) (内消費税 ￥4,893)

※ペイジー決済につき印紙の添付は省略させていただきます

支 払 先	東京カラー印刷株式会社
領 収 書 等 添付合計金額	53,821円

請求書

受注番号 T419777-1
請求日 2025年6月24日

藤井 隆弘

様

請求書合計金額(税込み)

¥53,821 10%対象(内消費税: ¥4893)

東京カラー印刷株式会社

〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27

TEL:03-5284-1173

FAX:03-5284-1174

登録番号 T9011801023948

NO.	項目/内容	単価	金額
1	商品名: チラシフライヤー 納期: 7営業日以内仕上 完了予定日: 2025年7月1日 用紙: コート90kg 用紙サイズ: B4 印刷色数: 両面フルカラー ページ数: 2 部数: 14,000 枚 オプション: 送料: 代引き手数料: ご利用ポイント: 支払方法: ペイジー(クレジットカード) 配送先: 配送先1: 鳥取県 会社名: 日本海折込センター鳥取本部 お名前: 林 様 納品日: 2025年6月30日		¥54,410 ¥0 ¥0 589P
	総合計(税込)		¥53,821



アイズ 47・48

発行：令和7年7月

【アイズ】EYES、合図・相図、愛ず

住所：倉吉市天神町233-1
 ☎・FAX：0858-26-0230
 Email:takahiro1953@hi3.enjoy.ne.jp
 https://fujii-takahiro.com/
 発行：倉吉市議会議員 藤井隆弘



討議資料

6月定例会が終了し、アイズ47・48号を発刊することができました。今号では3月定例会（市職員の管理、公共施設等総合管理、空き家対策、自治公民館活動）と6月定例会（市長の政治姿勢、学校教育）一般質問を中心に載せています。2020年12月定例会以降15回の一般質問等で地域づくり（自治公民館活動、コミュニティセンター等）、防災（除雪、水害、避難等）、福祉（介護保険、認知症、各種福祉施策）、教育（学校教育、社会教育）等々様々な角度から市政に関する質問・提言をしてきました。倉吉が真に「住みたい、行きたい、帰りたいまち、くらしよし倉吉」となることを願っています。

6月定例会一般質問（主な内容）

1 市長の政治姿勢について

（1）4年間の重点施策・予算

問 4年間の予算編成で市長の思いを反映した重点施策を問う。
 答 県立美術館のオープンをきっかけに、「活気ある元気なまち」にできたらということで、最終仕上げを考えている。周遊滞在型の観光まちづくりに向けた、ハード面も含めた取組、ホテル星取テラスせきがね、集いの森の整備、日本一美しい廃線跡を含めた交流人口、関係人口増の施策をしてきた。

（2）新規・拡充事業の成果

主な新規・拡充事業「集いの森」「移住定住対策」「企業誘致」「史跡大御堂廃寺跡地」「地方創生推進」「地域住宅計画」「防災」「ホテル星取テラス」の予算・成果の答弁を受け
 問 「地方創生推進」は、達成感を感じる指標設定も必要と考えるがどうか。「防災」は、多額のお金をかけているので市民に事業のPR、全市民対象の防災訓練での活用や周知等必要だと考えるがどうか。
 「集いの森」は、来店客数・売り上げ等具体的な指標はないか。「ホテル星取テラス」は、指標は入り込み客数27000人だが、その根拠は？。「企業誘致」は、雇用360人のうち多くの方に市内に住んでいただくための手立てはしてあるか。

答 「地方創生推進」今年度には起業に向けた行動もできはじめるので、成果を示せると考える。「防災」もっと多くの方に利便性をPRし、大きな効果を上げていることを知っていただきたい。「集いの森」指標を持つていないが、今後は数字をご報告もさせていただいたらと思う。「ホテル星取テラス」一定の期間後どういった成果があったか検証したい。「企業誘致」市内に定住される場合、アパート代1ヶ月1万円出すとか、定住につながる施策を展開してきた。奨学金の返還については、「県外から移住してもらう従業員の確保の大きな呼び水の一つになった」との声もいただいた。事業者からの声を聞き雇用の確保を移住定住に繋げたい。

（3）倉吉の持続可能なまちづくり

問 倉吉市の財政状況を市長はどう評価されているか。倉吉の持続可能なまちづくりを進めるための市長の考えをお聞きする。
 答 財政計画見直しでは、令和12年度財政調整基金と減債基金の合計額は11億円台と非常に厳しい状況だということは認識している。義務的経費が増額になり、自由のある予算編成なり事業の制約が迫られる状況が今後も続くと思っている。
 将来を見据え、市民生活に何が必要か見極めた上で、費用対効果を徹底的に検証、予算編成、執行することが必要と認識している。

問 厳しい財政状況になることは間違いない。事業・予算のバランス、出ていくもの、絶対必要なものは必要なので、持続可能で倉吉が元気になる市政運営を期待してこの質問を終わります。

2 学校教育について

（1）年間授業時間数

問 倉吉市小中学校の授業時間数の実態を問う。今年度から1週間の授業時間数を1時間減らしていることについて各学校への周知、学校の取組・反応を問う。

答 市内全ての学校、学級で国の定めた授業時間数を上回っている。昨年8月から校長会で提案、協議を重ねてきた。PTA連合会にも取組について説明し合意を得た。今年度全ての学校で週28時間、スタート、学校からは「教職員の共通理解の場を持つことができて、一体感のある学校経営ができる」等肯定的な意見をいただいている。一方、授業時間数をきちんと獲得する為にこまめに確認していく必要がある、学校との協力・連携が必要だと思っている。

（2）学校の適正配置

問 学校教育審議会を始め、学校の適正配置の取組の現状はどうなっているか。また「倉吉の子どもを育てる」という視点で、市長部局・教育委員会課題共有と連携・協力した取組みが必要だと考えますが如何か。

答 学校教育審議会、令和7年度は第1回目を5月27日実施した。学校の適正配置についても勉強会という形でスタートをし、令和8年度にかけて数回に分けて勉強会を実施したい。子どもの数は確実に減っており、勉強会を通して諮問、答申を受けて、もう少し時間はかかるかもしれないが、危機感を持って取り組む。

倉吉市子ども計画策定の話もあったが、令和7年度の第1回総合教育会議を5月21日実施し、市長部局の方から提案事項として、この中身について協議したところ。切れ目のない支援が子どもたちにとっては必要なのでしっかりと連携しながらやっていきたい。

問 危機感をもち、焦らないとだめだと思ふ。市民の皆さんに理解をしていただくために「猶予はない」と思っている。しっかりと進めていただきたい。市長部局との連携は、縦割り行政の弊害だと思ふ。しっかりと教育委員会と福祉部局が連携を取って子育てという観点で進めていただくことをお願いして質問を終わります。



6月定例会

<議会関連活動日誌（1月～6月）>

- 定期監査（1/7：経済観光部）
- 議案説明会、市議会臨時会（1/8）
- 定期監査（1/9：健康福祉部）
- 定期監査（1/15：市民福祉部）
- 議員懇談会（1/20）
- 定期監査（1/29：教育委員会）
- 定期監査（1/31：総務部）
- 定期監査（2/6：建設部、例月水稲検査）
- 議案説明会、市議会臨時会（2/19）
- 例月出納検査（2/26）

- 3月定例議会（3/3～3/25）
- 例月出納検査（3/26）
- 議員懇談会（4/21）
- 第2次議会改革推進特別委員会（4/21）
- 山陰都市監査委員会総会（5/9）
- 議員懇談会（5/22）
- 厚生文教常任委員会（5/22）
- 例月出納検査（5/26）
- 6月議会議案説明会（6/4）
- 6月定例議会（6/11～6/30）
- 例月出納検査、上下水道局決算審査（6/26）

<議会関連活動日誌（今後の予定）>

- 決算審査（7/1, 7/8, 7/11, 7/15, 7/22, 7/23, 7/29, 8/4）
- 議員懇談会（7月、8月）
- 9月定例議会（8月下旬～）



3月定例議会一般質問（主な内容）

1 市職員の管理について

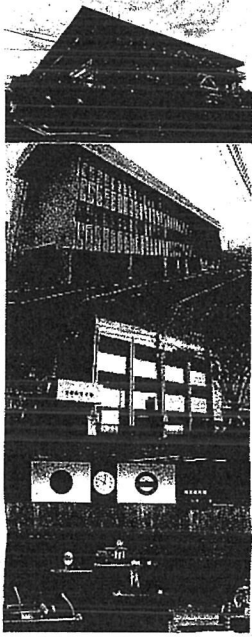
① 職員の定数管理、休職者と退職者
倉吉市職員の数は類似団体と比べてどうなっているか。休職者と退職者の実態を問う。昨年12月議会で可決した倉吉市ハラスメント防止条例の制定後の状況とカスターハラスメントの市役所での実態についてと市長の考えを問う。

② ハラスメント条例とカスターハラ対策

答 正規職員は418人で、国の調査によると類似団体134市の中で低い方から11番目。休職者は10、15人で推移し、多くはメンタル不調が原因。退職者は過去5年間で最も多い20人。ハラスメント防止条例制定後の相談は受けていない。カスターハラハラスメントの事例は市役所でも発生している。対応マニュアルを作成中で、近日常に制定できると思っている。

問 人手不足が疲労感、仕事に対する姿勢、住民サービスの低下につながらないか心配。市職員は元気が、働き盛りの職員が働き続けられる環境対策が必要だと考えるが市長の考えを問う。ハラスメント防止のネックが個人情報取り扱いだと考えるが、市長の考えを問う。全国の自治体でカスターハラハラスメント防止条例や具体的な取り組み事例がある。倉吉市の今後の取り組みは。

答 若い職員と「市長と」はなし「しよいや」では、明るく忌憚（きたん）ない意見を発言していただいているので、そこそこ元気な状況だと思う。市職員がメンタルで悩むことがないよう、風通しのいい何でも言える職場環境を築くよう努力したい。ハラスメント防止では、個人情報保護には十分配慮した中で対応することが重要。カスターハラ先進自治体の事例紹介もあったが、他の自治体の状況等も踏まえながら必要に応じて対策をとっていくと考えている。



2 公共施設等総合管理について

① 個別施設計画の実施状況

問 公共施設等の現状と見直しを行った施設、今後の進め方を問う。

答 転用・廃止、民間への譲渡等対象施設29施設のうち2施設を対応済み。残りの施設も事務手続きを定めて取組みを進めていけるようにしている。公共施設の計画的な更新、長寿命化を図って、しっかりとやっていくことにしている。

3 空き家・空き地対策について

① 空き家の現状と空き家の利活用

問 危険空き家の実態、空き家等の利活用・市の事業とその他の効果を問う。

答 令和7年1月末現在で、空き家が769件、そのうち危険な状態の特定空き家が273件ある。空き家等の利活用は、倉吉市空き家バンク制度を設け、移住者支援を核に各種制度を拡充・強化して対応している。効果として、移住者数が総合計画に掲げる目標値の300人を達成すると見込んでいる。来年度予算に、空き家に関する様々な相談を一カ所でできる空き家サポートセンターを開設する予算提案をしている。

4 自治公民館活動について

① 自治公民館加入率と公民館加入のメリット・デメリット

問 自治公民館加入率の推移を問う。費用や役の負担感、ゴミ処理・除雪・市報等の情報収集・防犯街路灯等様々な観点で公民館加入のメリットを疑問視する声を聞く。公民館に加入するメリット・デメリットをどうとらえているか問う。

答 加入率は令和4年度70.5%、令和5年度70.3%、令和6年度69.4%で5年前と比較するとどの地域も低下している。メリットは、安全・安心で助け合いによる住みよいまちづくりを実現していくことが一番。役員の負担感やデメリットの一つ。自助、共助が重要性を増しており、地域での横のつながりを構築していくことが重要。負担軽減も図りながら、自治公民館活動が持続可能な形で継続できるよう努力したい。



倉吉市ホームページ

編集後記



6月定例会終了、任期中の定例議会も残すところ1回です。はじめの2年間副議長と議会改革推進特別委員長を務めさせていただきました。議会基本条例と議会BCP案作成、議会タブレット導入運用、議員定数検討から現在の委員会体制への移行と様々な取組ができました。関係機関関係者の皆様に改めて感謝します。続いての2年間監査委員として務めさせていただきます。7月から8月にかけて令和6年度の決算審査を行います。「持続可能で元気な倉吉」の一助となれればと考えます。暑さ厳しき折、皆様と自愛ください。

領収書等整理表

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	広報費
整理番号	2
領収書等添付欄	

領 収 書

得意先番号
(1037038)

日本海ディヴェロップメント株式会社

日本海折込センター

登録番号: 田町12番地3
〒680-0932

TEL: 0857-32-3555
FAX: 0857-32-1222

藤井隆弘 様

		当回御請求額									
		71,233									
入金内訳	現金	①									
	小切手	2									
	振込	3									
	手形	4									
	相殺	5									

入金月日 2025 年 7 月 4 日
但し 7/6 利込 55 利込料

下記の通り領収致しました。

領収額 71,233

税率10%	税抜金額
	764,758
税率10%	消費税額
	76,475



支 払 先	日本海ディヴェロップメント株式会社 日本海折込センター
領 収 書 等 添付合計金額	71,233円

請 求 書

お支払日	

資料1

領収書等添付一覧

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	資料購入費	
整 理 番 号	主な支出内容	支出金額(円)
1	書籍購入(地方消滅2、ハンディ教育六法 ほか)	5,742
こ の 表 の 合 計		5,742円

資料2

領収書等整理表

(令和7年度4月～10月報告分)

科 目	資料購入費
整理番号	1
領収書等添付欄	
別紙のとおり	
支 払 先	LINE Digital Frontier 株式会社
領 収 書 等 添付合計金額	5,742円

藤井 隆弘 様

発行日 2025年06月29日

領収書No 30000037245356

LINE Digital From
〒141-0033 東京都品川
住友不動産大崎ガー
E-mail: cus
登録番号:T4-0

このたびはご利用いただき、誠にありがとうございました。

ご注文日 2025年06月25日

領収書（兼納品書）
¥5,742-
上記金額を正に領収いたしました。

対象の注文番号です。
19518768

お買い上げ明細

種類	商品コード	商品名	単価（税抜）	数量	金額（税抜）
書籍	BK-4121028309	地方消滅 2	¥920	1	¥920
書籍	BK-4779307805	ハンディ教育六法 2025年版/浪本勝年	¥2,300	1	¥2,300
書籍	BK-4322144462	まちがいだらけの少子化対策 激減する婚姻数になぜ向き合わないのか/天野馨南子	¥2,000	1	¥2,000
送料（税抜）					¥0
支払い手数料（税抜）					¥0
税抜小計					¥5,220
消費税（10%）					¥522
請求金額合計					¥5,742